

福岡のブランドデザイン会社が AI時代のデザイナーを育て自立を支える有料note記事を公開

株式会社スタジオグラム（福岡）は、AI時代に月5万円から抜け出せないデザイナーが勝ち残る仕事設計や「2つの魔法の質問」を学べ、購入後も情報追加ありの有料note（50,000円税込）を2026年10月20日（火）に公開しました。

リリースの概要と背景

「世の中のコミュニケーションノイズをなくす。」という経営理念のもと、企業の選ばれる理由をつくるブランディングデザイン会社・株式会社スタジオグラム（代表取締役：早野 悠）は、月5万円前後の売上から抜け出せず悩むデザイナーが、AI時代に勝ち残り、自立して活躍できる仕事設計を学べる有料note記事「月5万円デザイナーが年商1000万円に届くまでの仕事設計」を公開しました。

代表の早野が月5万円前後から7年で年商1,000万円に届いた実体験をもとに、ヒアリングから商品設計、顧客選定までを体系化。AI時代におけるデザイナー育成を通じて地域中小企業のブランドづくりを支える人材の厚み向上を目指します。

有料note『仕事設計』全10章の構成

第1章 月5万円で止まっていた本当の理由

第3章 デザインを捨てた瞬間、仕事の価値が変わった

第5章 制作物ではなく、導入後の変化を売る

第7章 理想の顧客だけが集まる発信導線

第9章 何でも受けない。対等に選ばれる顧客選定

第2章 30案作っても伝わらなかったロゴ案件

第4章 打ち合わせで主導権を取り戻す2つの質問

第6章 低単価制作から抜け出す商品設計

第8章 高単価でも選ばれる人がやっている一次体験

第10章 月5万円から年商1,000万円までの順番

※おわりに／巻末ワークシート付き

低単価の原因は「仕事の定義」にあった

本noteは、デザインの仕事はあるのに月5万円前後で頭打ちになっているデザイナーが、「言われたものを作る人」から「相談される人」へ変わるための実践記事です。配色やフォント、ツールの使い方といった技術論ではなく、デザインの「外側」にある仕事の組み立て方を扱います。

■ AI時代にデザイナーはどう生き残るか

生成AIの普及により、バナーやチラシ、ロゴ案を短時間で作るのは誰にでも可能になりつつあります。「作る」ことだけを価値にした仕事は価格競争へ巻き込まれますが、**クライアントの事業課題を引き出し、言語化し、成果が出るまで伴走する仕事**はAIに代替されにくい領域です。

スタジオグラムは、低単価問題を個人の努力不足ではなく「構造の問題」と捉え、勝ち残れるデザイナーを育てることで地域全体のクリエイティブ基盤を強化します。

■ 打ち合わせの主導権を取り戻す「2つの魔法の質問」

「おまかせで」「センスよく」といった現場での困った一言にも、この2つの質問から生まれた答えに立ち返ることで価格交渉される下請け状態から脱却できます。

質問1「それは、どんなシーンで使いますか？」

質問2「受け取った人に、どんな感想を持ってほしいですか？」

※実際の打ち合わせでの具体的な聞き方や会話例は、有料note内（第4章）にて詳しく解説しています。

■ 今後の展望

本noteは公開後も、具体例、補足解説、資料、ワークなどを随時追加していきます。購入済みの読者は追加料金なしで最新内容を読み返せます。スタジオグラムは今後も福岡・九州の中小企業のブランドづくりに取り組むとともに、デザイナーが長く自立して活躍できる環境づくりを発信していきます。

■ 記事概要 & 会社概要

記事名称	月5万円デザイナーが年商1000万円に届くまでの仕事設計
公開日／価格	2026年10月20日(火) / 50,000円（税込） ※追加更新あり
公開URL	https://note.com/studiogram_brand/n/ne0d33726965c
会社名	株式会社スタジオグラム（代表取締役：早野 悠）
所在地	〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町4-8 蝶和ビル603
事業内容	ブランド戦略立案・運用／事業承継・周年行事サポート／リブランディング／各種クリエイティブ制作

